

大東町海潮地区 [県道への倒木対策について]

Q392

温泉地内県道洞門付近の危険性について、今年の大雪で老木が倒壊し、先日の大雨で土砂とともに崩落している。洞門の上は急な斜面であり、いまだに老木の倒壊の恐れがある危険な状態にある。北陸や北海道でも洞門の大災害が起きているので、温泉の洞門についてもどれだけの衝撃や重量に耐えられるかわからないが、今後も危険であることには間違いはない。住民の安全や、通行車両のためにも何らかの対策を講じてほしい。

A

県道であるので、県と協議して対応します。(建設部)

大東町阿用地区 [通学路の除雪について]

Q393

阿用地区の地域安全推進委員をしている子供見守り隊をしている。今年の一、大雪だった。県道の車道は除雪するが、歩道は除雪されない。地区へ小型の除雪機械を配備し、地区ボランティアで除雪作業が出来たらと思う。

A

確かに、車道を優先して除雪しています。今年、経済対策で小型の除雪機械を購入する計画です。購入台数は限られていますので、総合センターと協議しながら有効活用していきたいと考えます。（建設部）

木次町斐伊地区 [交通事故防止対策について]

Q394

当地域の交通事情については、国道 54 号線の交通量の増加とともに、

- 1 . 雲南消防署と農協本所の間を渡ることができない（特に子ども、お年寄り）
- 2 . 自治会が道路により 2 分されている（島根三洋工業の工場と社員寮も分断されている）
- 3 . 子どもの送迎が困難、常会に歩いて行くことができない

など、多くの問題があり、関係機関に要請・陳情をしているところであるが、「地下道」の設置を強くお願いしたい。

A

この件については、昨年の市政懇談会にも提起されておりました。これを受け、昨年 10 月 23 日に国土交通省頓原維持出張所、雲南警察署、雲南市、地元関係者による合同現地要望会を実施し現地確認した後、意見交換、要望を行なってきました。また、11 月 19 日には、斐伊地域づくり協議会の佐藤会長をはじめ地元組織の代表者で頓原維持出張所を訪ね陳情を行なったところです。

国土交通省頓原維持出張所では、昨年 12 月に市道並びに広域農道の交通量調査や歩行者の状況調査を実施しておられます。

国土交通省では、雲南消防本部前は、縦断勾配 3 . 5 % の登坂車線が設置されている区間であり、信号機付きの交差点とし横断歩道を設置した場合に、追突事故等の交通事故が多発する危険な交差点となることを懸念しておられます。

地下道の事業採択基準には、ピーク時の 1 時間当りの歩行者数は 100 人以上と定められており、雲南消防本部前の交差点は該当しませんが、「連続した高速走行が可能な道路を横断する場合」に該当すると考えておられます。

実際に尺の内から三刀屋に向かう車は下りである為、交差点付近では自動車の接近速度が非常に大きくなり、危険な状態が起こる恐れがあります。このような場合には、横断者の安全を図るために、立体横断施設とすることが望ましいと考えておられますが、現在のところ結論に至っていません。

先般の国道 54 号でも問題となりました費用対効果の壁もあります。難しい問題ではありますが、国土交通省としても、今後、雲南市・公安委員会とも相談して立体横断施設を検討されますし、建設部としても粘り強く要望をしまいらいますので、ご理解をよろしく願います。（建設部）

Q395 [関連質疑]

交通事故について、見通しのいいところでも起こっている。三刀屋車線増幅工事が再開したが、地域が一体で要望すればできるものだと思う。登坂車線で子供等が渡れるように対応してほしい旨願います。子どもがのびのび育つ環境として財政が厳しくても必要であれば計画を立てておく必

要があるのではないかと検討いただきたい。要望として申し上げる。

A

交通事故（防止）について、横断施設はできるだけ早く設置できるように協議したいと思います。施設の整備・更新に取り組んでいますが、事業の位置づけをはっきりして説明しながら対応していきたいと考えています。（市長）

木次町八日市地区 [歩道の設置について]

Q396

何度も要望しているが、木次神社の手前の踏切の歩道が無く、子どもの通学時、自転車通行の方が車道に出てきて非常に危険である。市としてどういう対応を取っているのか。対応をお願いしたい。

A

朝晩、通勤通学の時間帯、特に子供にとって非常に危険な状況と認識しております。以前から市政懇談会でも意見をいただき、その都度県に改良、歩道設置を要望しております。県も前向きに考えているということですが、JRとの協議等が十分に進んでない状況ですので、市としても再度強く要望しております。また具体的なところについては、地元の皆さんと意見交換しながら進めていきたいと思っています。（建設部）

三刀屋町中野地区 [通学路等の除雪について]

Q397

小学校の通学路における歩道の除雪が非常に困難だ。生徒数も減り、地区内も高齢化が進み、自宅の木戸道でさえ除雪できないような状態なので人的な支援とか財政的な支援を頂けないか。

また、県道だけではなく、須所からの広域農道の距離が長く、せめて歩道の方へ除雪した雪を乗せないようにしていただきたい。子供は地元の宝として今後も見守っていきたいと思っている。

A

三刀屋町内の市道とか農道については、三刀屋総合センターで行っています。基本的に除雪については車道のみを実施しています。特にバス路線、スクールバスの路線を優先的に順次除雪を行っております。現在の除雪は市内の業者に委託をしてやっていただいておりますが、業者の方も歩道専用の機械は持っておられない。三刀屋総合センターにはありませんが、他のセンターに2台ほどあります。

しかし、他のセンターから応援に来てくれというわけにもいきませんので、歩道の除雪については、非常に困難な状況です。県道は島根県が管理しており、車道のみ除雪をしています。現在、高速道路の関係工事をしており、今年と昨年は業者の方が作られます対策協議会で、歩道の除雪をボランティアでされました。県にも歩道用の機械は整備されていませんが、今年のようにたくさん降りますと、県も機械を増やすような考えもされていますので、当地区に配備されれば、県の機械を市に借り受けてやるなど、県と連携して取り組んでいきたいと思っています。来年すぐ出来るかどうかはわかりませんが、今後協議をしていきたいと思っています。（三刀屋総合C）

Q398 [関連質疑]

小学校の通学は、学校に着くまでの道が通学路なので、給食車が入ってくるスペースも出来れば除雪してほしい。飯石小学校は、地元業者さんがそこまで除雪されているそうだ。デイサービスの送迎車も家まで入らない。社協が対応すればいいという問題ではない。いろんな面で考えていただきたい。

A

総合センターともよく話し合いをして、給食車が入れるような除雪も検討します。除雪の仕方に

についても検討していきます。十分に対応していきたいと思います。（市長）

Q399 [関連質疑]

森谷地区も最低でも1回または2回、除雪していただいているが、隣の掛合町は除雪も早いし回数も多い。さらに、町の境界線で除雪が止まる。それぞれ基準があろうとは思いますが、同じ市民であり、同じ権利を有しているのだから、もう少しそういう市政をお願いしたい。

A

除雪は総合センター単位で行っております。掛合総合センターの除雪がどのようにしておられるかわかりませんが、三刀屋総合センターの除雪の仕方は、業者さんの方で、県道 バス路線 市道・農道の順番でやっており、掛合総合センターも範囲が決まっているはずなので、町境で引き返されたというのが現実だと思われます。

掛合総合センターとも連携を取って、今後の対応をしていきたいと思います。（三刀屋総合C）

三刀屋町鍋山地区 [通学路の整備について]

Q400

粟原トンネルの横の道を通るが、子供の通学路でもあるのに道路が荒れている。対策をしてほしい。

A

通学路として利用していることは認識しています。歩道があるところを通学されていると思います。若干車道部分の落石とかこれまでも発生しておりまして、それなりの対応はしていますが、舗装修繕は今後、できるだけやれるようにしていきたいと思います。（三刀屋総合C）

掛合町多根地区 [道路の倒木撤去について]

Q401

この冬の豪雪により道路への倒木により通行止め箇所が多く出て、市が伐採を行ったが、その伐採木が束ねてあちらこちらにあり、広域農道沿いにもかなりの量があり、草が生えてきて片付けも出来ず、草を刈るのに不自由な状況にある。いつ頃片付けてもらえるものだろうか。道路の草刈をよくやるが、交通量も多くなってきて見た目も良くない。片付けてもらえる草刈もやりやすくなる。

それと広域農道の国道から5、600m入った所だと思うが、崖の上に大木があり、出来ところは伐採したが、我々の手では届かないところがある。今現在でも木の枝が道路に伸び、傾いた状態でがけの上であり大風でどうなるか分からない不安な状態である。他にもそういった場所がないかどうか調査した上で、通行に支障がないよう早急に処置をしてもらえないだろうか。我々もできることは対応するが困難なところは対処してもらいたい。

A

1月の大雪でたくさんの倒木が出て、道路を優先して倒木を撤去したところですが、予算の関係もあり、とりあえず撤去したものを路肩等に置いた格好になっています。徐々に撤去をし始めているのでご理解をお願いします。

また寝返った倒木について、すべてそういったものを把握しているわけではありませんが、なるべく早い段階で撤去したいと思っていますのでご理解をお願いします。（掛合総合C）

A

今年度、市の方で高所作業車を購入予定です。

倒木などの問題は掛合だけではなく全市にわたっており、すべての問題がこの車で対処できるかは分かりませんが、出来るものについては総合センターなどとも協議の上対処していきます。

（建設部）

平成 2 1 年度市政懇談会（まとめ）

掛合町入間地区 [県道の早期開通について]

Q402

国道 5 4 号線に接続する計画の県道について今年度から測量調査が行われ始めているが、なるべく早い開通になるよう市からも県へ働きかけをして欲しい。

A

国道からバイパス方式で県道に接続する計画で、今年度のうちに測量、用地補償までは終える予定です。

経済対策で国からお金も出る計画ですが、とりあえず測量設計が終わらないことには先に進めません。事業効果を発揮させるためにも早期開通をと考えていますので、地元の皆さんと一緒に働きかけられればと思います。（建設部）

掛合町掛合地区 [通学路整備について]

Q403

掛合小学校への登校路は整備されているが、狭く（1車線）くねくね道である。毎月1日に交通安全の立ち番をしているが、朝の15分間に子供と車が行き合う。交通事故が起こりかねない。

また、小・中学校、保育所への案内看板がない。設置してあっても見にくい。ぜひわかり易い看板を設置していただきたい。

A

掛合高等学校線は、入り口の用地がうまくいきませんでした。おっしゃるとおり幅員 5m の狭い道です。今後も整備について努力します。また佐中線の改良も検討していく事項だと思っています。（建設部）

A

登校路については、再度現場の様子やら学校と協議します。小・中学校、保育所の案内看板については、把握していませんでした。設置について検討します。（教育長）